



「負けないぞ」

(2月9日に第43回町民体育大会冬季大会が行われました) (詳細は7pに掲載しています)



令和2年3月1日

発行人●阿南町公民館編集部

編集人●公民館報編集委員会

印刷所●飯田共同印刷株式会社

連絡●〒399-1511 東條58-1

TEL 22-2270 FAX 22-2287

E-mail:kyouiku@town.anan.nagano.jp

あなん

もくじ

- P1 表紙 遊歩道
- P2 特集「わが町を盛り上げよう」
- P3 大陸流転
- P4 公民館分館紹介
- P5 よっ!兄貴・私の趣味・自慢
私の夢
- P6・7
できごと・お知らせ
- P8 あの人この人・
うちのホープ・編集後記

遊歩道

記録的暖冬、オリンピックに沸く世界を脅かしながら猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で様々なイベントが中止となり、事態は終息を迎える気配はなく、有効なワクチン開発が急務。何よりも怖いのは目に見えないことなのだ。

一方で、アメリカでは今季すでにインフルエンザによる死者が1万2千人を超えているという事実。目には見えなくともジワリジワリと進行していくもの。地球温暖化も然り、人口減少もまた然り。わが町に限らず、日本中、いや全世界中で目下進行中。これをいかにして食い止められるか、その方法はー？

ヒトの身体機能も20歳をピークにやがて緩やかに下降し、いつの間にか老化へと進んでいく。しかし維持するための確かな方法はある。

九星気学によると十干庚かのえ、十二支子ねの今年。成熟し実を結んだ種子の中に新しい生命が萌えはじめる頃と言われる。が、増えるのが新型コロナウイルスだけでは困りもの。

この世は陰と陽から成る。今こそ暗いイメージを明るい方向へチェンジしていく斬新な発想転換を。

わが町を盛り上げよう

あなんカラオケ 歌謡大会実行委員会

今年で8回目を迎えたカラオケ大会が先日、2月23日(日)に開催されました。

カラオケ大会の目的は、大会を通じ参加者同士の親睦を図り、歌うことを楽しむとともに町の活性化に寄与することです。また、大会を通じて歌を歌うということは

① 歌詞を覚える必要がある。
② 人前で歌うことにより、衣装に気を遣うようになる。
(実際、カラオケ大会に参加する皆さんはドレスなど様々な衣装で登場します)
ということであり、認知症予防にも役立つとされています。
また、歌を歌うことにより、ストレス発散にもつながるとされており、カラオケ大会で歌うことを通じたメリットは多岐にわたります。



今年のカラオケ大会で優勝した
田嶋 秀幸さん

カラオケ大会の内容は町内から集まった実行委員で決定し、参加者の募集も実行委員を中心に様々な方に声をかけるといふ形で行っています。
会場は阿南文化会館で行い、音響は専門の業者をお願いし、参加者に気持ちよく歌っていただくように心がけています。
当日会場には参加者以外にもその知り合いや家族も来場されて、歌い終わった参加者に家族などが花束を渡すとい



花束を受け取る大会参加者

う微笑ましい光景も見られます。また、審査は例年3人の審査員の方をお願いしており、最優秀賞・優秀賞のほかにも特別賞も設けています。

例年町内から40人前後の方が参加しますが、昨年は町外からの参加者も募った結果、60人の方が参加し、5時間以上かけ、皆さんフルコーラスで熱唱しました。
今後はもっと若い方に参加していただき、活気のある大会にしたいです(今でも少数ではありますが、若い方の参加があります)。また、2年前からは大下條北條のサボテ

ン広場において5月・8月のイベントに合わせてカラオケ大会を開催しており(審査員や順位はつけない)、町民の方がより気軽に歌える機会を増やしたいと考えています。
今年のカラオケ大会はもう終わってしまいましたが、来年も開催を予定しておりますので、多くの皆さんのご参加を心からお待ちしています。

原田茂美実行委員長のことは

最初は、町を活性化したいという思いから、自分と松澤易さんでカラオケ大会を始めました。昨年からは阿南町外からも参加者を募集し、今年も県外からも含め65人の方に参加していただき感謝しています。せっかく年一回の大会なので、参加者の皆さんには気持ちよく歌ってほしいと思っています。皆さんぜひ大きな舞台上で歌ってみませんか。

大陸流転

敗戦そして抑留8年 (19)

熊谷秋穂氏著

大八浪へ帰る

寒い、寒い北満の長かった冬もようやく眠りから覚めた感じがする。日差しもめっきり濃くなった。

伊漢通の埠頭から、ソ連に向けて大きな荷物船で積み出す荷物は、食糧品、医薬品、弾薬、衣料品に至るまで莫大な量だった。

冬に入る前の九月上旬から、船に荷物を積み込む使役には俺達が出役した。仕事の帰りには労働の対価として、食糧のモミや高粱を背負って帰ることが出来た。これも、最初のうちは黙認されていたが、段々と厳しくなって、春になる頃には自由には出来ないようになっていた。

制限が厳しくなったことで、収容所の生活は食べ物が無くなった。入植した大八浪へ戻ろうという話を持ち上がったのは、大八浪に行けば親しい中国人もあり、家財道具も預けて来たのだから「何とかなる」と考えたからだ。

今出発すれば、凍った川を歩いていけばいいので、最短距離を進むことができる。三月下旬が過ぎると、川の氷が解け始めるから、最短距離を行けないので、目的地に到着するのに十五日も要する。

今なら特別なことがない限り、四日くらいで到着することが出来ると判断したのだ。

三区の残留組、森岡家五人、佐藤家の母子三人、熊谷家六人の三家族計十四人は、他の団体も加わって方正収容所脱出を決意した。

出発の朝、治姉さんが、良平君、一三君の兄弟二人と、母のおきゑさんを連れて来て「道中お世話になるけど、日本へ一緒に連れてってほしい。私と寿美は、中国人のところにおいて、いつかは日本に帰るのを待つので」と懇願された。

全部話の終わらないうちに、俺の母を「姉ちゃ、姉ちゃ」と呼んでいた治姉さんは、母と手を取り肩を抱えて泣いていた。別れるときには、中国人の家から持ってきた饅頭の入った包みを「道中の食事にして」と渡してくれた。

「元気でな。病気しちゃ駄目だね」と姿が見えなくなるまで、手を振って送ってくれた。治姉さんの淋しい顔を思い出す。

俺達が方正を出発してから、四日目に大八浪に到着することが出来た。

親しかった孫成和や家族が迎えに出てくれた。開口一番に「苦しかっただろう」「飯は食べたか」「疲れただろう」と、あまりにも変わり果てた姿を見て同情

してくれた。

佐藤家三人、俺の家族五人同じ家に同居して世話になることになった。宝清県から避難してきた、日本人の五才になる男の子、それに苦力が一人、孫成和の妻と子供が二人、合わせて今日から十四人の大家族だ。「遠慮するな」と言ってくれた。日本では到底考えられないことだ。悪い顔など一度もしたことはない。非常に寛大な心の持ち主で、義理、人情に厚い人だった。本当に頭が下がる。俺達の命の恩人だ。

ハルピンへ

「日本人の引き揚げが始まるので、希望者は、ハルピンに集結するように」と有田良治さんが知らせに来た。

俺がこの先八路军に抑留されたとき、第七陸軍病院の医師として八路军で働いていて再会することになるんだ。

早いほどよい。荷物は何にもないから、すぐにでも出発出来るが明日出発することにした。その日の夜、孫成和が餃子やら豚肉、鶏の丸焼き、卵炒め、粉条子と肉の煮込みで、送別の宴を開いてくれた。夜遅くまで話し合った。

「生活に困ったら、孫家において。面倒は見てるから」と同じ事を何回も何回も、繰り返して心配してくれた。

いよいよお別れだ。見送りに来た近所の中国人や世話になっていた孫成和の家族も泣いて別れを惜しんだ。俺も

孫成和と固く握手をして、肩を抱き合っ、泣きながら別れた。

閻家駅まで馬車で送ってくれ、ここでも泣きながら汽車に乗り込んだ。

ハルピンに到着すると、数万人の日本人がいた。花園収容所だった。「いよいよ待ちに待った日本に帰れる」と考えただけでも胸がはずんだ。

「ソ連国の激戦で、負傷した兵隊さんが東安の病院に収容されているので、担架で輸送するため若い者の志願を募る」との通知が出た。「一般の人達より先に日本へ帰ることが出来る」とのことであった。

俺も若かった。十六才だったので、母や、弟、妹と別れて志願することにした。

「家族より早く日本に帰れる。俺が先に日本に帰って段取りをつけておく」

こんな簡単な動機だった。これが中国八路军に拘留されるきっかけだった。



公民館分館紹介

新野地区 砂田分館

砂田地区は新野にある9地区のうち、道の駅千石平を国道418号沿いに売木方面に進み、農村文化伝承センター横の5又路から売木トンネルの間に位置します。



砂田公民館

農村文化伝承センターは、新野の盆踊り・雪祭りだけでなく、早稲田の人形芝居・和



農村文化伝承センター

合の念仏踊り・お鍛様等も紹介されています。また、旧一山齊（後藤家）の八連蔵が保存され、歴史資料館として利用されていて、昭和・大正以前のレトロな展示品が多くあり、興味深いものがあります。しかし阿南町民（新野の住



八連蔵

民）であっても覗いたことのない人が多いのは残念です。ぜひ一度は見学していただきたいものです。

砂田地区は平成の初めころには80戸以上の大きな集落で、3つの区に分かれていました。今では、65戸と、戸数も減り、3年前に3区が合併して一つの区となりました。分館活動は合併前からいっしょにしています。新野の運動会が2年に1回、時々雨天中止に

なり、4年に1回、6年に1回となり、分館として活動することが本当に少なくなりました。

どの地区でも同じでしょうが、少子高齢化で、子どもの遊ぶ姿がほとんど見られませんが、特に砂田は、小学生も中学生も一人もいません。伝承センター横の交差点で毎朝子どもたちを見守る牧屋（屋号）のおばあさんが手持ちぶさたに見えます。



八連蔵の展示品

私の趣味・自慢!

「ギター演奏」

沖田 勇さん

高校時代の勉強の中心は簿記で、後はギターばかりでした。今ではこの2つが一番役に立っています。簿記は仕事上必要でしたが、ギターは今から10年前の新野の寅年会で、思い付きで弾き語りをやったのが、今現在のおやじ楽団の始まりでした。今は高校の後輩で宝屋3代目の加藤修君といっしょに芸能祭・うら盆フェスなどで演奏しており、加藤修君はプロ級のドラムで、時にはベースでいっしょに奏でてくれます。その日の気分で演奏するライブ感がとても楽しいです。私も浜屋の3代目なので、二人で演奏する時は「3代目N SOUL BROTHERS」と言っています。老後の趣味の前哨戦といったところでしょうか。



よっ! 兄貴

和合・宮沢

井上 ^{ふたば} 双葉さん



・あなたが今やっていることについて教えてください。

今、僕はバイトをしながら、両親の田んぼや畑を共にやったり、自分のうちの裏山の整備や伐採、そして、自分で作った曲を歌ってライブ活動をさせてもらったりもしています。

消防団にも昨年から入れていただきました。

・これからやりたいことは何ですか。

これからは、少しずつではあるのですが、自分の田んぼや畑を、農薬などを使わないやり方で管理していきたいと思っています。

そして、日々の生活の中で生まれてくる曲や詩を書いて歌っていきたいと思っています。

わたしの夢

富草小学校 5年生

飯島 ^{ゆきな} 透奈さん



わたしの夢は、テレビやネットに出られるような有名人になる事です。その理由は二つあります。

一つ目は、私があこがれている有名人に会って話がしたいからです。二つ目は、有名になって、テレビに出たり、音楽を作ったりして活やくしていきたいと思ったからです。わたしは、テレビやネットに出られるような有名人になって、大活やくしていきたいです。



第42回阿南町富草門原新春走ろう会で元気にスタート

令和初の門原新春走ろう会に85人が出場 昭和・平成そして令和の時代へ

阿南町富草門原地区において、毎年新春恒例の「門原新春走ろう会」が1月1日に、参加者85人のもと開催され、今年1年の健康・活躍を願い快走しました。

昭和54年1月1日に第1回を開催し、今年で42回目となり、年初めの大きな事業として町内でも門原地区だけの開催で、体力づくり・地域活性化を目指す注目の行事。

今回は、新潟、郡内では、高森町・下條村からも帰省者等の参加者もあり、にぎやかな大会となりました。門原地区は駅伝・野球・卓球等のスポーツが盛んな地区で、かつては全国高校駅伝・全国都道府県対抗駅伝・長野県縦断駅伝等に出場した選手を輩出し、全国で活躍した選手もいたほど。

この大会も昭和・平成、そして今年からは令和の時代に突入と新時代の大きな大会となり、大きく成長が求められます。今年2020年はオリンピックイヤーと期待・注目の年でもあり、そんな希望を胸に、気持ちよい汗を全員で流すことができました。

昭和54年当時、第1回大会にこぎつけた松下厚さん(69)は「こんなに長く、歴史ある大会に成長できたのは、地区の皆様の『地域を元気に』という強い思い、そして、新年早々にも関わらずに取り組んでいただける大会役員の方々のおかげで、素晴らしいチームワークです。高齢化・人口減少と言いますが、参加者は毎年同じくらいで、特に、小中学生が元気に走ってくれて大きな収穫があり、次回以降につながる大きな期待・希望がいっぱいの大会となりました」とおっしゃっていました。

なお、本大会の上位入賞者は次のとおりでした。



第1回より参加者の多い大会として成長

1.3kmの部

順位	名前	所属	タイム
1位	小澤 汰勇	富草小	7分11秒
2位	松下昂史郎	高森南小	7分14秒
3位	朝山 愛夢	下條中	7分35秒

2.1kmの部

順位	名前	所属	タイム
1位	松下 幸太	富草小	11分01秒
2位	松下 隆倫	富草小	11分20秒
3位	村山 大地	富草小	11分24秒

3.6kmの部 (出場選手2人)

順位	名前	所属	タイム
1位	金田 治樹	中屋	21分30秒
2位	鈴木 光佳	鈴木左官	23分30秒

6kmの部 (出場選手1人)

順位	名前	所属	タイム
1位	熊谷 新太	阿南一中	33分00秒



優勝した「最賀ジャパン」のメンバー

今年で51回目を迎えた駅伝大会に総勢129チームが出場しました。阿南町からは、「最賀ジャパン」「T.H.E.よせあつめ」「阿南高校職員」チームが出場し、地元一般の部で「最賀ジャパン」チームが見事に優勝を飾り3連覇を果たしました。

(最賀ジャパンチームのコメント)
当日は雨が降りしきるあいにくのコンディションでしたが、チーム一丸となり、目標であった「地元一般の部3連覇」を達成できました。来年も同じチームで出場し、さらなる順位を目指します。

第51回阿南町梅花駅伝
悪天候の中、阿南町から
3チームが激走!

できごと 1・2月

世代間交流囲碁ボール大会

1月26日

富草老人福祉センターで世代間交流囲碁ボール大会を実施しました。当日は6チーム、22人の皆さんにご参加いただき、白熱した試合が行われました。

大会の結果は以下のとおりです。
(敬称略)

優勝

Cチーム(小林 孝敬、玉井 文男、勝又 康誠)

準優勝

Dチーム(宮島 ユキ子、玉井 誠子、南島 喜代恵)



和合演芸大会 2月8日



昨年PTA主催で開催し盛況だった演芸大会ですが、今年度から公民館主催で行われました。和合小学校体育館を会場に、第1部は地区の皆さんによる演芸発表会、第2部は当日参加した皆さんで行うカラオケ大会の2部構成で行い、個性豊かな多くの発表に会場は大変盛り上がりしました。

また同会場では、お宝展示会を開催し、竹で編まれたカゴや昔の和合の写真など様々な作品が展示され、来場者の目を楽しませました。

第43回町民体育大会 冬季大会 2月9日

今年の大会から卓球を新たな

種目に加え、町民体育館でバドミントン、武道館で卓球、町民会館大ホールで囲碁ボールを行いました。大会の結果は以下のとおりです。(敬称略)

バドミントンの部(ダブルス)

優勝 金田 せな

木村 まりんペア

準優勝

高野 一男
佐々木 智子ペア

卓球の部(一般)

優勝 金田 政美

準優勝 佐々木 一成

卓球の部(中学生)

優勝 南島 柊太

準優勝 佐々木 大輝

囲碁ボールの部

優勝 A-1組(秦 稔司、佐々木 巖、玉井 誠子、南島 喜代恵)



準優勝 B-1組
(三浦 虎夫、熊谷 秋穂、勝又 豊、勝又 康誠)

おしらせ 3・4月

○第43回阿南町みんなで走ろう
駅伝大会参加チーム募集!!

とき 5月2日(土)
午前8時開会式

ところ コミュニティーの森

コース コミュニティーの森を
スタートし、見名、国道
151号線の富草栗野
を折り返しとする全6

部門
①小学生の部
②一般の部
③女性の部

申込期間 4月1日～4月17日

参加費 1チーム1,000円
(小中学生チームは無料)

申込方法 所定申込書に記入の上、
教育委員会内事務局へ
提出。

問合せ 教育委員会
電話22-2270

あの人この人



新野 本町
後藤 朝子さん

向山^{むかいやま}の朝子さんは亥年生まれの96歳。平成23年にご主人の守雄さんを亡くされてから、猫と犬と池の鯉と生活しています。一人でも生き物の世話をすること

で癒されています。春になると周囲の畑で野菜を作ります。機械で畑を耕すのは息子さんですが、その後の作業はご自身です。じゃがいも、なす、きゅうり、とまと、大豆、里芋、長芋、とうもろこし(3000本)、秋にはほうれん草、大根、白菜、野沢菜。漬け物も市販の物は飽きてしまうから漬けると言われます。

野菜が好きなので食事に欠かせません。「果物好き！イチゴ、スイカ、ブルーベリーも作るよ」。

「ブルーベリーは鳥に食べられませんか？」との問いに、桜の木の下に移植して枝で守ってもらっているとお答えでした。イチゴも元気な苗を作り植え替えています。すごい！多い分は知人に配りますが、里芋など皮をむいてから持参するそうです。買

い物はラクターターで農協まで行き、小正月の墓参り(14日親戚等の墓)も行かれました。これのおかげで出かけられると・・・昨年12月に体調を崩され心配されましたが、週2回デイサービスを利用し、毎週息子さんが様子を見に来られ、簡単に食べられるおかずを冷蔵庫に補給してくれます。レンジの使用も最近覚ええました。魚はイワシの丸干しが好き、肉は野菜といっしょに調理します。今年も元気に野菜作りの姿が見られるでしょう。

うちのホープ



和合 寺村
有富 晃典さん・小夜さんのお子さん
あかり 燦さん(12歳)(写真左)、開士くん(9歳)
たまき 巴くん(3歳)(写真中央)

有富 巴^{ありどみ たまき}です。3歳です。

僕が生まれたのは島根県西部の山の中。とてもとても暑い夏の日だった。一週間前までお母さんは海へ泳ぎに行っていて、今日も海に行きたいなあーと思っていた朝、陣痛が始まったんだって。そして生まれたのはその年の海の日だった。

いま和合に来て2年目の冬を過ごしているよ。お父さんが薪ストーブにくべる木を切って薪を割ってくれる。僕はそれを何本も抱えて運ぶ。

和合の冬は寒いけれど、雪はあまり降らないね。近所のおじさんが僕にそりを作ってくれたから、早くたくさん雪が降ってほしい。そして小学生のお姉ちゃんお兄ちゃん、そして新しく家族になった子犬のオマといっしょに遊ぶんだ。



人工知能「AI」を搭載した機械が発展してきた。近い将来、AIが我々人間の働きを代行する可能性が高いと言われていま

す。そうなれば、メリットは大きい。より危険な仕事はAIが担い、単純な作業も含めて人間の仕事はすいぶん楽になるだろう。だが、その仕事までもAIに取って代わられたら、やがて人間の仕事が無くなるかも？ そうなったら、給料は？生活はどうすれば？